

ごみを減らそう!!



— 京都市ごみ減量推進会議 —

No.36 2008.6



平成20年6月1日(日)

昨年度は京都市内14カ所、めぐるくん推進友の会会員を中心に、ごみの減量に関するアンケートやクイズ、ゲームを通して行われたごみ減量啓発活動、今年も北区、東山区で行われた“ふれあいまつり”を皮切りに、ごみ減量啓発活動を行います!



東山区民
ふれあいまつり



平成20年6月6日(金)



当日は105名の会員が出席。昨年度の報告、今年度の計画についての説明に耳を傾けました。会員からは、ホームページに関する意見等、京都市ごみ減量推進会議の活動がより良いものとなるような提案もなされました。



北区民
ふれあいまつり



◇ もっぺんの達人 ◇

近江真綿の原型を見せてもらった。わずかに27cm四方の真綿の原型をご夫婦が2人で引き伸ばすと、あっという間に透き通るような綿が1m近くに広がって美しい糸模様は空中に泳ぐ。まさに蚕が紡いでくれた生命の世界の再現である。

ここは丸岡屋ふとん屋さん。(上京区堀川今出川上ル) ご主人の宇野賢一さんと奥さまの忠子さん、最近では娘の直子さんも加わって営まれるふとん店。今では本当に少なくなった仕立て直しを業とするホンモノの手技職人のお店である。

丸岡屋さんに打ち直しの注文が入る。平べったくなった掛けふとんをもとの寝心地の良いふわふわのふとんに再生、甦らせる仕事が行われている。木綿を専用の針状の金具が無数についたローラーにはさまみ、ティッシュペーパーより薄い綿に戻し、また一枚一枚重ねていく、その時、宇野さんはご注文いただいたお客さまの寝心地を考えると、中に入れる材料によって寝心地も違って来る。「このぐらいの重ね方が一番ええあんなばいやる。」その寝心地の良さをデザインしていく。

「真綿(シルク100%)も木綿も寝る姿になじむ、しっかり自分の体をおおってくれる、10年使える。だから一人のお客さんに次

お会いするのは10年後どすな。」宇野さんは笑う。

宇野さんはお客さまに「たんに眠っている古い着物はありませんか、それを掛けふとんの表に再利用しましょ。」と持ちかける。「そうすると旦那さんが喜びますな、おまえの若い頃の着物がこんなになったんかと。」そこに夫婦のあたたかい会話が生まれる「それがうれしい。」と宇野さん。

「ふとんや座ぶとんを通して寝心地、居心地を創っていく、それが職人としての役目ですわ。」本物の職人がいる町。そこには何故か深い安心感が生まれる。「私は再生屋、もっぺんを生業としている職人です。」この職人、只者でないと感じさせてくれる。宇野さんは続ける。「この頃若いお客さんが増えてきました。この間も若い女性がスカーフを持ってきて、これで座ぶとんを作ってくれと。彼氏へのプレゼントにするというんです。世の中暗い話も多いですけど、こんな女性もいると思うと心があたたまりました。勿論、精出して作らせてもらいましたえ。」

最後に宇野さんは「私は近江商人の言葉“三方よし”を持論にしています。売り手よし、買い手よし、世間よし。売り手も買い手も喜びあい、そして世間がうるおっていくあかん。」と力強く語ってくれた。

取材・文 大橋正明

●丸岡屋ふとん屋さんホームページ <http://www.marukokaya-futon.com/>

高月会長に聞く 今後の展望と戦略

20年度を迎えるにあたり「今後の展望と戦略」と題して高月絺会長に語っていただきました。聞き手は中田富士男普及啓発実行委員長。お二人の対話の中から飛び出した夢と希望に満ちた京都市ごみ減量推進会議のこれからの行方をここに綴ります。



高月 絺 会長

中田 まずは平成19年度を大きく見渡していかがでしたか。

高月 家庭ごみの有料指定袋制導入に伴い京都市ごみ減量推進会議(以下「ごみ減」)の予算規模も大きくなったので、それに伴っているような活動が活発になりましたね。事務局体制が整ったのもその一つですが、特に2R型エコタウンが今回の目玉として動いたというのが19年度の象徴ではないでしょうか。

中田 2R型エコタウンに関して、どれだけ取り組めたか、その成果は。

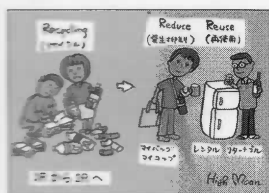
高月 もともとソフトの事業なものですから、ごみの減量がどれだけできたかの成果は早急に出るものではないと思っています。2R型エコタウン事業は3年計画でつくっていきこうというものですから19年度はその手がかりの年。いわば平地から立ち上げたものですから、むしろ20年度にかけてどう機能していくかを見ていかなければなりません。

中田 そこでパートナーシップ事業が注目されると思うのですが。

高月 行政とNPO、事業者とNPO、2者間でもパートナーシップですが、やはり3者すなわち行政・NPO・事業者でやっていける仕組みが欲しいですし、活発化して欲しいですね。ただ、パートナーシップが進んでいるかというところもあるし障害もまだまだある。

中田 企業に対するご意見はいかがでしょう。

高月 大企業は、ごみ減量計画を策定し仕組みづくりが機能していると思うのですが、今後は中小の企業さんが、積極的に取り組んでいただくことが大切で、そこがまだ見えないのが現状です。京都市のごみの半分以上は事業系ごみになってきていますし中小の企業さんにもごみ減量に取り組んでいただく仕組みづくりが大切になると思います。



中田 さて、今年の学生祭典なんかを見ているとエコ活動に関して大学生さんの活躍が目立ちましたね。

高月 そのとおり。京都は学生の町、お寺さんの町でもあります(笑)。特に学生は2R型エコタウンで「もっぺん」のHPを立ち上げたりして活躍してもらってます。学生のスキルをもっと活かしたいですね。

中田 さて、今後の展望やごみ減の役割についてお聞きしたいのですが。

高月 ごみ減自体が自前で事業を起こしていける、そういう体質を身につけたいと思います。それが本来的な狙いですから。行政はそういう市民活動をサポートするという位置づけに徹し、ごみ減はもっともっと提案力を付けていく、そんな活動展開が必要だろうと思います。

中田 そうすると地域ごみ減量推進会議(以下「地域ごみ減」)の役割も、ますます大切になる。

高月 そうです。地域ごみ減も自主的に課題を見つけ、提案していくというのが本来の姿で、そういう意味で2R型エコタウンというのはいろんなプロジェクトにチャレンジしているのじゃないかな。これからの地域ごみ減の活躍を楽しみにしていますし、例えば、会報誌なんかにも自ら取材して掲載していくというのも面白いんじゃないでしょうか。



中田富士男
普及啓発実行委員長

中田 それでは最後に今後の夢というテーマで語っていただけますでしょうか。

高月 はい。まずはこれからどう一般市民を巻き込んでいこうかでしょう。その為には夢のある事業を立ち上げていくことが大切です。「ああ、やってよかった」という事業を展開することです。菜の花プロジェクトなどは、その例かもしれませんね。今後は小さな子供さんも含めて、あらゆるジェネレーションの人々が参加できる仕組みをつくっていきたくて考えています。やった活動が見える仕組みということです。

もう一つはごみを減らすということの目的は私たちの資源やエネルギーを大切に、地球の環境負荷を最大限に少なくしていくということ。そこがしっかり結びついていることを再確認したいと思います。

京都は、議定書の町、そして環境都市だということを大切にPRしていきましょう。「京都市ごみ減量推進会議」は他都市に見られないユニークな取組みだということを忘れないでください。20年度は、2R型エコタウンを中心に、いろんな活動を地についたものにしていく正念場ではないでしょうか。その為にも市民主導型の都市をつくっていく。そうすれば、おのずと素晴らしい社会が開けていくのです。その一翼をごみ減が担っていることを胸に今年度も頑張りましょう。

中田 同感です。本日は貴重なご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

取材 大橋正明

※紙面の関係上、対話の一部を記載するに留まったことをお詫び申し上げます。

シリーズ 会員探訪

京都生活協同組合

所在地：〒601-8382 京都市南区吉祥院石原上川原町1-2

TEL：075-681-2190

FAX：075-681-6849

HP：<http://www.kyoto.coop/index.php>

理事長：小林 智子

設立：1964年11月27日

事業所：支部12 店舗：22 子会社：5 組合員数：465,876人

事業概要：生鮮食品・一般食品・家庭用品・衣類等を直接またはカタログを使用して組合員へ供給する事業の他、共済事業や福祉事業も行っています

市民団体、事業所、各種事業者団体、専門家など、多彩な顔ぶれで構成される京都市ごみ減量推進会議。今回は、京都生活協同組合の活動を取材しました。

京都生活協同組合

Q 京都生活協同組合(以下、京都生協)が環境問題に取り組み始めた背景を教えてください。

A 1974年のオイルショックがきっかけとなって、店舗チラシの簡素化、包装紙の節減の取組みが開始されました。昨今、話題となっているレジ袋の有料化については、1983年にコープ下鴨で、1996年からは全店で実施されています。

Q 当時、レジ袋の有料化は、すぐに組合員に受け入れられましたか？

A 有料化にあたっては、組合員から反発や戸惑いの声もありました。しかし、「1万人店頭対話運動」などを経て全店舗導入後は、買い物袋の持参率は確実に向上し、昨年度は93%に達しました。

Q レジ袋の削減の他、リサイクルにも積極的に取り組んでいらっしゃいますね。

A 京都生協では、紙(牛乳)パック、食品トレー、PETボトル、カタログ類、卵パック、共同購入などで発生する内掛け袋の回収・リサイクルに力を入れています。また、店舗で発生する廃食油はBDFに、食品廃棄物(生ごみ)は肥料や、堆肥にリサイクルされています。

自治体の分別回収の有料化に伴い、リサイクル回収量は年々増加しています。京都生協では、食品トレーを軽量化するなど、環境負荷の軽減に知恵を絞っています。リサイクルには膨大なエネルギーとコストが掛かります。不必要な発生を抑え、資源物を適正に店舗に返すことで、有効なリサイクルシステム維持にご協力をお願いします。

Q 環境への配慮を進めるにあたり、今後の課題を教えてください。

A 地球温暖化防止対策が急がれる中、全国の生協が一丸となってCO2の削減に取り組んでいます。太陽光発電やカーボンオフセット(二酸化炭素の排出を相殺するために植林や自然エネルギーを活用すること)などの環境対策について、

組合員の意見も踏まえながら検討をすすめていきます。コスト面や制度上の深い議論が必要となりますが、地球温暖化防止に向けて私たちにできることを実現させていきたいと思えます。

<取材を終えて>

京都生協の環境保全活動は、正に日本の環境問題の歴史とも言える。その時々々の社会問題や組合員の意見を採り入れ、改善と工夫を試みる姿勢が大変印象深かった。

同じPETボトルでも、それを‘資源’として意識するのか、‘ごみ’として扱うかで結果は大きく異なる。企業の努力を支えるのは、消費者である私たち一人ひとりであることを改めて認識した。

取材日：平成20年5月14日／取材：松村 香代子



リサイクルセンターにて(高橋さん)



雨水タンクを利用して、敷地内の緑化を進めている。

行政からのお知らせ

京都市では、家庭ごみの有料指定袋制導入に伴う手数料を財源として、「電動式生ごみ処理機」及び「生ごみコンポスト容器」の購入費用の一部を助成しています。生ごみ減量への取組をご家庭でお手軽に実践していただけますので、是非この機会に本制度をご利用ください。

【助成内容】

種類	助成額	上限	助成予定台数
電動式生ごみ処理機	購入額の2分の1(100円未満切り捨て)	35,000円	1,000台
生ごみコンポスト容器	購入額の2分の1(100円未満切り捨て)	4,000円	100台

【助成対象】

電動式生ごみ処理機(注1)及び生ごみコンポスト容器で、以下に定めるもの。

- ・市内の販売店にて購入したもの。・助成決定後に購入したもの。
- ・家庭用であること。・電動式生ごみ処理機については、消費電力量が1.5kWh/kg以下のものであること(注2)。

(注1) 電動攪拌(かくはん)式以外の生ごみ処理機(手動攪拌式、電気保温式)は助成対象に含まれますが、ディスポーザー式(生ごみを粉砕して下水に流すもの)は対象外です。

(注2) 地球温暖化防止の観点から、消費電力量の多い機種は助成対象外とし、(財団法人)日本環境協会のエコマーク認定基準である1.5kWh/kg以下のものとしす

【助成対象者】

- ・京都市内在住で、京都市内の販売店で機器を購入する方(1世帯に1台、法人名義は除きます)
- ・これまでに、本助成金を受けていない方及び世帯であること。

【申込期間】

第1期 終了

第2期 平成20年 7月1日(火曜日)～平成20年 7月31日(木曜日)

第3期 平成20年 8月1日(金曜日)～平成20年 8月31日(日曜日)

第4期 平成20年10月1日(水曜日)～平成20年10月31日(金曜日)

【お申込・お問合せ】 京都いつでもコール(京都市市政情報総合案内コールセンター)

電話：075-661-3755 FAX:075-661-5855

電子メール：<http://www.city.kyoto.jp/koho/cc/event/>

ごみ減 地域活動レポート

【目指せ! 地域の美化とごみ減量!】
上鳥羽地域ごみ減量推進会議

上鳥羽地域ごみ減量推進会議の立ち上げは、今から3年前。今回お話を伺った「フードショップ あおに」前には、20ℓのポリタンクが常時設けられ、いつでも天ぷら油の回収ができるようになっている。多い時には1ヶ月に回収される天ぷら油の量は40ℓを超える。立ち上げ当初には、使用済みの天ぷら油は固めて捨てる、といった声も聞かれたが、今では住民の理解も得られるようになってきた。

店主の長谷川幸男さんは“私たちの地域のことをいつも前向きに考えてくれる会長さんや副会長さんの熱意に応えたくて”快くお店の軒先を回収拠点として提供した。「ペットボトルなどに入れて買い物ついでに持って来てくれる」と奥様の千江さん、地域の住民と、そこに根ざすお店ならではの、心の通ったキャッチボールである。

回収を始めた頃は、持参した天ぷら油をその場に置いたまま帰ってしまうケースも見られたが、適切な回収方法の呼び掛けを続ける中、今ではきちんとポリタンクの中に入れてくれる人が増えてきた。油かすをこし取るための金網やしゃもじは長谷川さんの工夫。油の注ぎ口には丸い缶で作った蓋も用意しており、雨対策も万全だ。

上鳥羽地域では町内ごとに清掃日が決められており、日頃から近隣同士が協力し合って、地域の美化に取り組んでいる。また、南区全域で年4回行われる地域清掃にもほとんどの世帯から参加者が集まる程、一人ひとりの美化意識が高いことが町の誇りである。最寄駅から取材先まで歩いて往復した幹線道路にも、ごみのポイ捨てが少ないことがとても印象に残った。

もうすぐ、この回収拠点の近くに130戸規模のマンションが完成する。新しい住民への協力の呼び掛けにも余念がない。天ぷら油の回収を通して、地域住民の環境意識の高揚や地域のコミュニケーションが更に深まり、町の美化運動に繋がることを期待している。

取材日：平成20年5月10日／取材：松村 香代子



(左から) 長谷川千江さん、田中成守会長、長谷川幸男さん、森岡梅次副会長



(回収風景)

◆会長：田中 成守 ◆発足：平成17年3月 ◆学区世帯数：約6,000世帯
◆使用済み天ぷら油の回収：常時

NEWS NEWS

2008年

4月の出来事

- 4月5日(土) 6日(日)
鴨川さくらまつり
菜の花プロジェクトの
お披露目ブース展示
- 4月19日(土)
2R型エコタウン構築事業成果報告会
会場：コープイン京都202会議室
郡島委員長の基調講演と各事業の報告・パネルディスカッション



- 4月27日(日) 市役所フリーマ

5月の出来事

- 5月9日(金) 第44回理事会
会場：ハートピア京都
- 5月18日(日) 市役所前フリーマ



6月の出来事

- 6月1日(金) 北区民ふれあいまつり
東山区民ふれあいまつり
- 6月6日(金) 平成20年度通常総会 会場：平安会館
- 6月15日(日) 市役所フリーマ
*雨天時は6月29日(日)

7月の予定

- 7月13日(日) 市役所前フリーマ
*雨天時は7月20日(日)
- 見学会
- 市民公募型パートナーシップ事業報告会
*上記2点は、7~8月に予定しています
詳細が決定次第、お知らせします

8月の予定

- 8月3日(日) 市役所前フリーマ
*雨天時は8月10日(日)
- 8月19日(火) 10:30~12:00
こどもワークショップ「まんがをかいてごみをへらそう」
会場：高島屋 7階 催し会場
講師：環境漫画家・ハイムーン氏
参加費：200円 定員：20名(要予約)
持ち物：鉛筆、消しゴム、クレヨン、水筒、参加証
(受付後、送付します)
申し込み先：TEL&FAX:075-753-7709
「びっくり! エコ100選実行委員会」

京都市ごみ減量推進会議会報誌 ごみを減らそう! No.36

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター活動支援室内
TEL: 075-647-3444 / FAX: 075-641-2971
E-mail: gomigen@mbox.kyoto-inet.or.jp
URL: http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gomigen/index.html

🔍 ゴミゲン・ネット 🔍 検索 🔍 で検索出来ます

【入会のご案内】

京都市ごみ減量推進会議は、京都市のごみを減らし、環境を大切にしたいまちと暮らしの実現に寄与することを目的として、市民団体、事業者、行政により1996年11月に設立した団体です。パートナーシップで多彩な活動を展開中。京都市ごみ減量推進会議では、ともに活動をする会員を募っています。

詳細は、事務局へ問い合わせください。TEL:075-647-3444

企画編集：京都市ごみ減量推進会議 普及啓発実行委員会
(会報誌・ホームページ小委員会)